

惣開校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成21年7月21日(火) 19:00~20:35
場 所 惣開公民館二階大ホール
参加者数 男 41人 女 46人 合計 87人



○これからの10年のまちづくりに向けての提言

提言内容：産業遺産と公民館を拠点としたまちづくりについて

1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名（ 新分別について まち美化条例について ）

（質問）

環境美化について三点質問します。

1. 草むらや人の見えないところにポイ捨てがある。この対策を自治会がするのかどうか。お伺いしたい。
2. 新聞紙の持ち去りがある。条例もできたが、早急に取り組んでもらいたい。
- 3・平成14年4月1日からまち美化条例ができ、何回か市政だよりで広報されたが、それ以降ペットブームになり、犬のふんの放置が多く見られます。個人のマナーにもよりますが、もう一度市の方で市政だよりやパンフレットなどで周知を図っていただきたい。

(回答：市長)

持ち去りについては、10月1日から改正条例が施行して、持ち去りを発見したら告発をしていくことになっています。松山が先に禁止になり、新居浜あたりに来て、出したさきから無くなっていくことがあった。また、通学時間と重なったりして、非常に狭いところでスピードを出して通行するなど弊害がありました。市の方針は、市がパトロールしますが、住民の皆さんは見かけましたら危険ですので直接交渉せずナンバーとかを控えていただき、お知らせしていただきたいと思っている。

次に、まち美化条例ですが、平成14年4月1日にまち美化条例を作って、いちばん効果があったのは同時に制定をした放置自動車を撤去するという条例で、これにより公園とかにある放置自動車を、手続きをして廃棄して随分無くなってきた。犬ねこの問題は、マナーの問題ではあるが、継続して取組まなければならないので、今は年4回市政だよりで広報している。さらに予防注射の案内をするときとか、いろいろな機会をとらえてモラル向上の啓発をしている。とくに悪質な飼い主がわかった場合は、個別に指導を行ったり、被害が多い地域については、自治会の回覧や広報塔で啓発を行うなどの対応をこれからも継続して実施してまいりたい。

(回答：環境部長)

ポイ捨てにつきましては、会長さんはじめ自治会の皆さんがご熱心に取り組み分別していただいておりますことをまずお礼申し上げます。また云っていただければ取りに伺います。

ポイ捨てについては、なかなかポイ捨てをしている人の確認あるいは対処が非常に難しい問題である。しかしながら悪質なものについては、まち美化条例にも罰則規定はありますが、警察で対応していただいておりますので、是非市の方なり警察の方なり連絡していただきたいと思えます。

2. 校区設定市政課題

課題名（ 校区の産業遺産の保存と活用 ）

(質問)

惣開校区においては、産業遺産の保存・活用は大変大切に重要な課題である。産業遺産についての取り組み状況等をお伺いしたい。

(回答：市長)

惣開校区の主要課題は市の取組みと重なるわけですが、産業遺産の保存・活用について、これまでご意見、ご提言を頂いてまいりました。平成18年、19年、20年度とそれぞれ

れご意見をいただきまして、産業遺産をどうやって保存していくのか。その方法とか考え方ということで寄与していただいております。

産業遺産の保存というのは、すでに市の所有となっているものを除けば住友の企業、鉱山であったり、林業であったり、あるいは化学であったりする。そういった住友企業が所有している。いわば現役です。その利活用については、使用しているので、所有者とよく話をしていかなければならないということで、連絡調整ライン（別子銅山保存活用連絡調整会）というのを作りまして、その中で一つ一つの産業遺産を、これはまだ企業としては会社の操業のなかで使いたいとか、使う可能性がある、あるいはこれはもう産業としては使わないから文化財としてもよいとかという定義をしながらこれまで取組んできております。

その一つの成果として、今年登録有形文化財に5つ文化庁から指定を受けることができました。端出場隧道、端出場鉄橋はマイントピア別子の鉱山鉄道が通る隧道と橋です。あと山根グラウンドの煙突と山根公園の石積みの観覧席。そしてマイントピアに移築された泉寿亭の特別室。この5つが登録有形文化財として文化庁から価値ある文化財として指定を受けております。これまでは旧住友銀行と遠登志橋が産業遺産として、武徳殿は別子銅山関連ではありませんが新居浜市の登録有形文化財として受けています。広瀬邸では登録有形文化財より価値のある重要文化財として指定を受けております。このような文化財の指定を一つ一つ受けていくことが保存をきちんとしていくことでありますし、世界文化遺産の上位にもなっていくということで取組んできました。

ただ、このような活動をしていくには予算が必要になります。市が予算を組んで実施していこうと思っておりますが、何とか市民、企業を含めて一緒に活動ができる方法がないかと考え、基金を平成20年にあかがね基金という名前で作りしました。基金というのは、お金を積み立てて、それを必要なときに使う。あかがね基金は産業遺産の保存・活用のために使うということに決めております。新居浜市が3年前に3000万円を積み立てました。平成20年に企業や市民から1881万5千円基金へ寄附していただいております。使い方については、たとえばこんど使うといえば煙突山の保存、倒れてしまいますから、122歳になっていますから、その保存にその基金のお金を使うことが考えられます。さらに、この地元という意味では星越社宅についての現況調査について平成19年、20年の2年間に行いまして、現在報告書のまとめを行っております。このようなことにも基金を使っていこうということを考えております。

この前は、自転車歩行者道に南中の生徒が看板を作ったり、西中の子供たちがいろいろな調査をしたり、惣開小の子供たちも取組んだり、地域ぐるみで作らされていると思っております。われわれだけではなく地域、企業が一体となって取組んでいくテーマであり、それに対する惣開のみなさんからこれからもご意見やご提言ご要望をいただき、後押しをしていただきたらと思っております。校区の産業遺産の保存と活用についての経過説明を終わらせていただきます。

課題名（これからの10年のまちづくりに向けての提言）

「産業遺産と公民館を拠点としたまちづくり」というテーマで一市民として提言させていただきます。

惣開校区は、別子銅山と住友歴代各社との強い結びつきにおいて、現在まで歩み続けてきた地域です。新居浜市の長期総合計画の中でも「近代化産業遺産ロマンの息づくまちづくり」が目標に掲げられており、その近代化産業遺産に多く恵まれているこの地域は、歴史や文化の薫り高いロマンあふれるまちといえます。しかし、上部地区にはマイントピア別子が、川東地区にはマリパーク新居浜といったテーマパークがあります。そこでこの星越地区には是非新居浜市にふさわしいシンボリックなテーマパークが必要であり、まちづくりの柱としたい、との願いから、私がいつも頭に描いている夢の一端を提言したいと思います。

提言の前に現在の星越地区をみんなで見てみましょう。これは現在の星越地区の産業遺産の一部です。山田社宅は、昭和初期に建設された幹部社宅で、一戸建てで、庭付き、生垣があり、屋根の形も多様で大変価値の高い住宅群だそうです。星越駅舎は、別子鉱山鉄道下部線で唯一現存する駅舎として貴重なものです。このほかに星越地区には、新居浜選鉱場、星越トンネルなど、昭和初期の景観が残っており、生きた博物館的な存在で、テーマパークにふさわしい地域だと思います。これは昭和35年ごろの星越山を中心とした地図です。大正14年、新居浜選鉱場が完成し、別子鉱山鉄道下部線の星越駅ができ、山田社宅の建設、惣開町にあった病院や小学校、接待館など生活の重要な施設が次々と星越地区に集められ、新居浜の都市計画とともに交通の要として発展したことが良くわかります。現在は、下部鉄道の線路と山田社宅の星越駅より東の方と、前田社宅が取り壊された以外はほとんど変わらず、昭和初期の景観が残っていることは、何ものにも替えがたい貴重な宝物だと思います。

そのようなことから、惣開公民館では、地域の特性を生かしたまちづくり事業として、平成17年には、別子銅山と新居浜というテーマで高齢者講座を開催したり、あるいは南高校生をガイドに小学生と一般の方との校区めぐりを行ったり、平成18年、19年にかけて近代化産業遺産シリーズ講座を10回開催し、旧別子、東平登山ほか大津市の活機園、京都市の有芳園を訪れ、先人の足跡を尋ね、地域の歴史に学ぶ学習に取り組んできました。また、まちづくり校区集会でも校区の重要課題として新居浜市の考えや取り組みについても聞くことができ大変心強く思ったところです。今後は更に学習を深化させ、価値の共有を図り、交流を深め歴史や文化の薫り高い、心癒されるまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。まちづくりについては、地域の宝物を生かした、まちづくりネットワークの構築が大切です。惣開校区の宝物は、もの（産業遺産）と、自然環境と、ひと（地域住民）です。そして校区には、関係の深い企業や、学校、自治会、各団体が多くあり、地域を構成する各団体が、公民館をかちづくりの拠点として、ネットワークを組み、様々な学習や交流をとおして活動することにより、自分の住むまちに愛着を持ち、地域を愛す

る心が育ち、まちづくりにつながると考えております。

これは、10年後の星越地区のイメージ図です。提言に沿って新居浜市立西中学校三年生立川真理恵さんと畑田沙希さんがイラスト化したものです。上の方に選鉱場があり、下に星越駅があって、列車を描いている駅前の風景があります。左に山田社宅群、そして池があって中心に公民館、そして、子供たちやみんなが楽しんでいる情景が描かれております。

最後にこれから10年後に向けての提言をしたいと思います。

「まちづくりへの提言」

- 1、公民館を星越山田社宅エリアに移転し、すべての情報の発信地にします。具体的には平屋で社宅群にマッチした外観、生垣を配し、ふれあい交流館、宿泊研修棟、グランドゴルフ場を併設する。
- 2、星越駅舎を整備し、先人の精神を伝承するモニュメントとして残し資料館として活用する。
- 3、池や王子川を整備し、ほたるの飛び交う心の癒しとなる空間をつくる。
- 4、星越を一周する遊歩道を作り、ジョギングや散歩が楽しめるようにする。

私たちは、これからの10年後のまちづくりに向けて、地域でできることから少しずつ取組んで行きたいと思っております。市当局としても、別子銅山保存活用連絡調整会議で実現に向けた取り組みをお願いいたします。

(感想：市長)

長期総合計画と第四次後期戦略プランに近代化産業遺産ロマンの息づくまちづくり、近代化産業遺産を中心とした「生きた博物館都市」の形成を目標に掲げ、この10年間取組んできています。これからも次に10年間を引き続き近代化産業遺産を中心としたまちづくりをしていく。間違いなく大きな柱になると思っております。具体的には何をやっていくのか。計画ですけど、われわれだけでなく、住民のみなさまの理解や応援が惣開でも広がっていくし、市内全体でも広がっていく、そういうことが保存・活用の力になっていくと思っております。一人ひとりのご支援をお願いしたい。ありがとうございました。

3. 地域課題

なし

4. その他での質問

質問（ベルマークの活用について マンモグラフィー・子宮頸癌検診について）

（質問）

惣開小学校ではベルマークを集めていない。王子幼稚園では集めていて、市内の学校でも集めているところ、集めていないところがあります。みんなで協力して集めれば学校の子供たちが使う教材になりますので市から集めましょうと呼びかけて欲しい。

ニュースでもよく流れていますが、もう一つの質問は、マンモ検診と子宮頸癌の検診クーポンです、新居浜市としてそのような計画があるのか、お尋ねしたい。

（回答：市長）

学校ごとの対応については把握していないが、集めることのいろいろな負担を考えて決めているのではないかと思います。ご意見があったということを教育委員会に伝えておきます。

もう一つのクーポンについては、国の方の施策でクーポン券を対象者の人にお送りして検診を受けましょうということです。いま準備しています。準備が整えば広報して、お知らせします。基本的には後期10月後半から始まるようになる予定です。